

Vol.19(2021) No.19(09/16)L08

BNT162b2 ワクチンを接種した医療従事者におけるブレイクスルー感染(Editor へのレター)

[Breakthrough Infections in BNT162b2-Vaccinated Health Care Workers \(Correspondence\)](#)

Lange B, Gerigk M, Tenenbaum T

【N Engl J Med. 2021 Aug 18:NEJMc2108076】-peer reviewed(査読済み)

(抜粋・要約)

ドイツのマンハイム大学医療センターでは、1137人の医療従事者がBNT162b2ワクチンの接種を完了した。このうち、免疫能の正常な女性4人(0.35%)にブレイクスルー感染が発生したが、これは2回目のワクチン接種後62日目(中央値)であり、Hacisuleymanらの報告^A(中央値25日目)に比べて発症時期が遅かった。このブレイクスルー感染の発生率は、初期の第III相試験での発生率[ワクチン接種者の0.05%(17,411人中8人)で、BNT162b2ワクチンの2回目接種から7日目以後にブレイクスルー感染が生じた]より高いが、医療従事者を対象とした最近の他の研究に比べて低い。

当施設での感染者は、症状は軽度にとどまったがウイルス量が多く(Ct値^Bは25未満)、診断後最大32日後までウイルス排出が持続した。スパイクタンパク質変異(delHV69/70, N501Y, A570D, D614G, P681H)のゲノム解析を行ったところ、すべての株がB.1.1.7変異株(アルファ株)に分類された。

^A Hacisuleyman E, Hale C, Saito Y, et al. [Vaccine breakthrough infections with SARS-CoV-2 variants. N Engl J Med 2021;384:2212-2218.](#)

^B cycle threshold